体育科学習指導案

平成14年2月8日（金）
1年4組（体育館）
男子16名 女子16名
指導者 飯坂 幸子

1. 単元名  リズムでゴー　（表現リズム遊び）　　　—基本の運動—
忍者ころころ修行　（器械・器具を使っての運動遊び）—基本の運動—

2. 単元について

<table>
<thead>
<tr>
<th>リズムでゴー</th>
<th>忍者ころころ修行（マット遊び）</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>一般的性質</td>
<td>マット上で、いろいろな回り方を工夫して回ることが楽しい運動である。</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>できる回り方で上手に回ったり、新しい回り方に挑戦したりして楽しめる運動である。</td>
</tr>
<tr>
<td>見立た場供</td>
<td>いろいろなリズムに合わせて動くのが楽しい。</td>
</tr>
<tr>
<td>特かの性質</td>
<td>友達のまねをしたり、友達と自由に踊ったりするのが楽しい。</td>
</tr>
<tr>
<td>関連体</td>
<td>一人一人が自由に踊ったり、友達のまねをしたり、一緒に踊ったりして楽しくなることができる。</td>
</tr>
<tr>
<td>材リリマ仏</td>
<td>いろいろな場を設定することにより、友達のやってみたい、挑戦したいという意欲につながると考える。</td>
</tr>
</tbody>
</table>

子供供給の教材

- リズム遊びが好きか
  - 目の内容
  - 男女别
  - 子どもが好きな.simps

- マット遊びが好きか
  - 目の内容
  - 男女別

指導観

- 忍者とまねっこをしたり、よい動きを見つけたりする活動をとおして、自分の動きを増やすようにしていきたい。
- 友達とら遊び合いながら踊る活動を取り入れ、友達とともに踊らせる楽しさを味わわせたい。

- “忍者の修行の一つ”という役割で、楽しく取り組めるように工夫したい。
- いろいろな場を設定し、いろいろな動きを工夫させることにより、運動の楽しさを味わわせたい。
- 学習カードを活用し、できる動き、挑戦する動きなどがわかるようにし、あえてをもって取り組ませたい。
3. 本単元で育てたい子供の姿

| 技能 | いろいろなリズムの音楽にのって遊ぶことができる子 | いろいろなマットで、いろいろな回り方ができる子 |
| 態度 | 友達と仲良く協力して踊ることができる子 | 安全に気を付け、順番を守っていろいろな回り方に挑戦する子 |
| 学び方 | 友達のまねをしたり、自分の動きを工夫したりすることができる子 | いろいろな場で、回り方を工夫することができる子 |

4. 「めあてに向かって、共に力いっぱい運動に取り組む子の育成」をめざす授業の創造

視点1 見通しをもち、自分のおもいを広げながら運動していく指導の工夫

手だて① リズム遊びの動きのポイントを明らかにし、2人組やグループで動きを工夫できるようにする。

手だて② 動きを見合う場を設け、友達の動きを知ったり、まねしたりして自分の動きを増やすようにする。

手だて③ 子供が考えた動きに名前をつけてカードにすることにより、意欲化を図る。

視点2 自分や仲間の高まりに気付き、自分のおもいを広げていく評価の工夫

手だて④ 学習カードを活用し、できる動き、挑戦する動きなどを明らかにし、見通しをもって進んで運動に取り組めるようにする。

手だて⑤ 友達の動きを見合う場を設け、自分の動きに生かすことができるようにする。

手だて⑥ 子供の動きや態度などを適宜・適切に評価し、運動の喜びを味わうことができるようにする。

5. 単元計画

(1) 学習過程 (7時間扱い) ○は本時　□は欠時

<table>
<thead>
<tr>
<th>時間</th>
<th>1</th>
<th>2</th>
<th>3</th>
<th>4</th>
<th>5</th>
<th>6</th>
<th>7</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>10</td>
<td>ねらい1</td>
<td>友達といっしょに踊る</td>
<td></td>
<td></td>
<td>ねらい2</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>20</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>30</td>
<td>ねらいや進め方を知る</td>
<td>ねらい1 いろいろな術で遊ぶ</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>40</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>捍者こころこ修行</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |

(2) 学習のシーケンス

<table>
<thead>
<tr>
<th>時間</th>
<th>1</th>
<th>2</th>
<th>3</th>
<th>4</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>10</td>
<td>ねらい1</td>
<td>友達といっしょに踊る</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>20</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>30</td>
<td>ねらいや進め方を知る</td>
<td>ねらい1 いろいろな術で遊ぶ</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>40</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

(3) 学習の内容

<table>
<thead>
<tr>
<th>時間</th>
<th>1</th>
<th>2</th>
<th>3</th>
<th>4</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>10</td>
<td>ねらい1</td>
<td>友達といっしょに踊る</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>20</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>30</td>
<td>ねらいや進め方を知る</td>
<td>ねらい1 いろいろな術で遊ぶ</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>40</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>
学習指導
〇リズムでゴー

<table>
<thead>
<tr>
<th>時</th>
<th>学習活動</th>
<th>指導上の留意点</th>
<th>手だて</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>20分</td>
<td>① 学習のねらいと進め方を知る。</td>
<td>〇リズムでゴー1（2学期に実施）で出た動きを生かして動くようににする。</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>2分</td>
<td>② 音楽に合わせて、いろいろな動きをする。</td>
<td>〇教師が指示した部位や動きで、リズムにのって動くことができるようにする。例：[手、足、腰、ジャンプ、手拍子等]</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>10分</td>
<td>③ 1人で動きがある。</td>
<td>〇良い動きを取り上げ、全体に広める。</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>3分</td>
<td>④ まねっこ遊びをする。</td>
<td>〇子供が考えた動きに名前を付けたカードにすることにより、意欲化を図る。</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>⑤ リーダーを交代して行う。</td>
<td>〇手だて①</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>⑥ タッチ遊びをする。</td>
<td>〇手だて①</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>手と手でタッチ</td>
<td>〇手だて②</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>お尻でタッチ</td>
<td>〇リズムにのって楽しく踊っていたグループ等を称賛する。</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>足でタッチ</td>
<td>〇手だて③</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>* 聴きの例</td>
<td>〇手だて③</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>両手で</td>
<td>〇手だて③</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>片手で</td>
<td>〇手だて③</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>お尻で</td>
<td>〇手だて③</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>⑦ ものつかない子には、カードを見せてから動きを言う。</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>全体を2つに分けて見せ合うする。</td>
<td>〇手だて②</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>⑧ よい動きをまねしてみんなで踊る。</td>
<td>〇手だて③</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>まとめをする。</td>
<td>〇手だて③</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

学習のねらいと進め方を知る。

ねらい2 みんなといっしょに楽しく踊ろう

1 4人で踊る。
・リーダーのまねをする。
・リーダーを交代して行う。

＜まねっこ遊びの例＞

〇手だて②

＜動きの例＞

〇手だて③
○忍者ころころ修行

<table>
<thead>
<tr>
<th>時</th>
<th>学習活動</th>
<th>指導上の留意点</th>
<th>○手だて</th>
</tr>
</thead>
</table>
| はじ め | 1 学習のねらいや進め方を知る。  
・学習の進め方  
・グループの人数 4人×8  
・用具の選び方・置き方  
・活動場所の確認  | ○ねらい1「いろいろな術で遊ぼう」と  
ねらい2「いろいろなマットで修行を  
しよう」について理解させる。  
○安全に楽しく遊ぶための約束を確認で  
きるようにする。  
・マットの選び方, 置き方, しまい方,  
使い方など  |
| 25分 | 2 慣れの運動をする。  
①大歩き②かえるの足打ち③ゆりかご  
④ブリッジ⑤あずらし⑥うさぎ跳び  | <慣れの運動>②かえるの足打ち  
①大歩き  
③ゆりかご  
⑤あずらし  
④ブリッジ  
⑥うさぎ跳び  |
| ×1 | ①大歩き②かえるの足打ち③ゆりかご  
④ブリッジ⑤あずらし⑥うさぎ跳び  | ⑦子供の術を認め, 名前をつけ, 意欲化  
を図る。  
（手だて③⑤） |
| な か | 1 グループごとにマットの用意をする  
＜活動の場＞  | ○マットの置き場所に印をつけておき,  
準備がスムーズにできるようにする。  
（生活班で行う） |
| 25分 | 2 慣れの運動をする。  
3 いろいろな術(回り方など)で遊ぶ。  
＜術(回り方など)の例＞  
・前回り・後ろ回り・横回り・だるま  
回り・忍者回り・あずらし・うさぎ  
とび  | ○順番を守って, 合図し合いながら, 安  
全に楽しく活動できるようにする。  
○できる術で楽しく行えるようにする。  
○調子よく回ったり, 続けて回ったりす  
るよう助言する。 |
| ×1 | 2 慣れの運動をする。  
3 いろいろな術(回り方など)で遊ぶ。  
＜術(回り方など)の例＞  
・前回り・後ろ回り・横回り・だるま  
回り・忍者回り・あずらし・うさぎ  
とび  | ③友達の回り方を見て, 自分の動きに取  
り入れるようにする。 (手だて④)  
②仲良く協力して活動しているグループ  
や約束を守って活動している子をほめ  
広めるようにする。 (手だて⑥) |

横回りで続けて回る  
4 グループで見合ったり, 敎え合ったりする。  
5 まとめをする。  

前回りをする  
③友達の回り方を見て, 自分の動きに取  
り入れるようにする。 (手だて④)  
②仲良く協力して活動しているグループ  
や約束を守って活動している子をほめ  
広めるようにする。 (手だて⑥)
ねらい２ いろいろな場で修行（すきな回り方など）をしよう

1 グループごとに修行の場を用意する＜修行の場＞

スケジュ−ル

feedback

2 いろいろな場で友達ところころころ修行をする。
＜修行の例＞
・一本橋を落わないでわたる
・岩を上げながら回る
・さかさま歩きで壁わりずをする

3 友達の術を見る。

4 修行の発表

5 まとめをする。

6. 本時の学習（5/7）
（1）本時で育てたい子供の姿（目標）

<table>
<thead>
<tr>
<th>リズムでゴー</th>
<th>忍者ころころ修行</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>技能</td>
<td>リズムにのって、友達とタッチしながら踊ることができる。</td>
</tr>
<tr>
<td>態度</td>
<td>友達と楽しく踊ることができる。</td>
</tr>
<tr>
<td>学び方</td>
<td>友達と動きを工夫することができる。</td>
</tr>
</tbody>
</table>

（2）準備
学習ボード、学習資料、学習カード、カセットデッキ、カセットテープ、たいこ、マット、踏み切り板、岩（袋）、戸（ミニハードル）、川（小マット）、平均台
<table>
<thead>
<tr>
<th>段階</th>
<th>学習活動</th>
<th>指導上の留意点 ○ 手だて ☞</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>導入</td>
<td>1. 集合、整列、あいさつをする</td>
<td>○素早く集合させ、元気におさつができるようにする。</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>2. 準備運動をする。</td>
<td>○音楽に合わせて、楽しく準備運動ができるようにする。[曲 勇気100%]</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td>○教師の指示で動くところは、教師のまねっこをさせ、自由に動くところは自分の動きができるようにする。</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td>◎動き方がわからない子には、教師のまねや、動きのカードから選ぶなどして、動けるようにする。 (手だて②)</td>
</tr>
<tr>
<td>3分</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>&lt;動きのカード例&gt;</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td><img src="image" alt="動きのカード例" /></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

<table>
<thead>
<tr>
<th>展開</th>
<th>3. めあてを知り、行う。友達とクッチしながら楽しくおどろう</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1分</td>
<td>(1) 2人でタッチしながら踊る</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>- 片手と片手</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>- 両手と両手</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>- お尻とお尻</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>- 足と足</td>
</tr>
<tr>
<td>2分</td>
<td>(2) 友達の動きを見る。</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>(3) よい動きをまねする</td>
</tr>
<tr>
<td>4分</td>
<td>まとめをする。</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>- 感想発表</td>
</tr>
<tr>
<td>5分</td>
<td>5. グループごとに準備をする。</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>&lt;活動の場&gt;</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td><img src="image" alt="ステージ" /></td>
</tr>
<tr>
<td>6分</td>
<td>6. 慣れの運動をする。</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>&lt;慣れの運動&gt;</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>①犬歩き  ②かえるの足打ち  ③ゆりかご  ④ブリッジ  ⑤あさらし  ⑥うさぎとび</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td><img src="image" alt="慣れの運動" /></td>
</tr>
</tbody>
</table>

- オマットの置き場所に印をつけでおき、準備がスムーズにできるようにする。
- (生活班4人×8グループ)
- ○安全に気を付け、素早く準備ができるようにする。
- ◎慣れの運動で、もとになる動きをしっかり行うようにさせる。 (手だて②)
7 修行の場の準備をして、ねらいを確認する。
○グループで協力して場の準備ができるようにする。
いろいろマットで修行（すきな動き）をしよう

＜修行の場＞

<table>
<thead>
<tr>
<th>一本橋</th>
<th>忍者広場</th>
<th>ジグザグ道</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>崖</td>
<td>収道</td>
<td>トンネル</td>
</tr>
</tbody>
</table>

8 いろいろな場で友達とろく修行をする。
＜修行の例＞
・一本橋を川に落ちないようにわたる
・忍者広場で、岩をようけながら進む
・トンネルをぶつからないように進む

9 場を選ぶ、修行の成果を発表する。
○グループで好きな場に行って修行をする。
⑥修行の場で、自分できそうな術を考えさせて行えるようにする。
（手だて①③）
＜術の例＞
・一本橋を忍者回り（側方倒立回転）でわたる
・トンネルをあざらしの姿勢で進む
・坂道を前回りで続けて回る
⑦よい動きをしている子を見つけて、積極的にほめるとともに、他の子に広めるようにする。
（手だて⑥）
⑧ 2人組で選んだ修行の場に行き、術（動き）の発表を行えるようにする。
（手だて①）

ま
10 まとめをする。
まとめる（1）片付け
（2）整理運動
7 分
（3）学習カードに記入
（4）感想発表
11 整列、あいさつをする。

⑤本時を振り返り、感想や友達のよい動きを発表できるようにする。
（手だて④）